

台湾における現地情報

2022年 11月 16日

株式会社フェアコンサルティング

坂下 幸紘

【台湾での新型コロナウイルス感染・対応状況】

台湾での現在の1日の感染者数は約2万人～3万人ほどとなっています。

衛生福利部中央流行指揮中心 2022年10月24日、新型コロナウイルス感染者の同居人はワクチンの接種回数にかかわらず、11月7日から自宅隔離措置が免除となると発表しました。これにより、対象者は抗原検査が陰性であれば自主防疫対応のみで済むこととなります。

【育児・保育手当見直しを閣議決定】

行政院は2022年10月27日、育児手当と保育手当の見直しを閣議決定しました。

- 5才児未満が対象の育児手当と2歳児未満が対象の保育手当の支給対象にかかる所得制限の撤廃
- 保育人材の賃金引き上げ

【ノービザ滞在の再延長措置の終了について】

2022年10月25日に内政部移民署は、2020年3月21日以前に台湾に合法的に入境している外国人に対し、毎月30日間の滞在期間延長を続けてきましたが、10月5日での延長を最後とし、今後の延長措置は行わないことを発表しました。これにより本措置により滞在していた外国人は基本的に11月30日までに台湾を出国しなければなりません。<https://www.immigration.gov.tw/5382/5385/7229/7238/323779>

〈台湾 連載コラム〉

通信 No. 4

10月13日から台湾での隔離がなくなったことで、外国人の台湾渡航者が増えてきています。弊社でも日本から来た出張者との面談回数が多くなりましたし、街で外国人観光客を

・感染者・死亡者速報通知(2022年11月16日付)



資料更新日時 2022/11/16

指揮中心快訊

Central Epidemic Command Center (CECC) Press Release

22692	本土22631	13714	8092118
新增病例	境外 61	累計死亡	累計確診

目前8092118例(8054991本土、37073境外、36散離艦隊、3航空器、1不明及14調查中)

中央流行疫情指揮中心今(16)日公布國內新增22,692例COVID-19確定病例，分別為22,631例本土個案及61例境外移入；另確診個案中新增69例死亡。

今日新增之22,631例本土病例，為10,533例男性、12,083例女性、15例調查中，年齡介於未滿5歲至90多歲以上，個案分布為新北市(3,819例)、高雄市(3,046例)、臺中市(2,815例)、桃園市(2,591例)、臺北市(2,085例)、臺南市(2,072例)、彰化縣(1,105例)、屏東縣(738例)、新竹縣(631例)、苗栗縣(545例)、新竹市(530例)、雲林縣(526例)、嘉義縣(395例)、南投縣(361例)、宜蘭縣(336例)、基隆市(322例)、嘉義市(248例)、花蓮縣(245例)、臺東縣(130例)、金門縣(49例)、澎湖縣(37例)、連江縣(5例)。

今日新增69例本土病例死亡個案，為43例男性、26例女性，年齡介於50多歲至90多歲以上，皆屬重度感染、66例具慢性病史、41例未接種3劑以上COVID-19疫苗。確診日介於今年9/21-11/13，死亡日期介於10/25-11/13，詳如新聞稿附件。

今日新增61例境外移入個案中，29例男性，32例女性；年齡介於20多歲至80多歲，分別自泰國(2例)、日本、馬來西亞(各1例)移入，另57例感染國家調查中。入境日期介於今年10/17-11/14。

詳情請參考疫署11/16新聞稿

中央流行疫情指揮中心 關心您

見かける機会も増えてきました。また、台湾人の日本渡航も徐々に増えてきており、弊社社員でも早速年末に日本旅行を計画している者がいます。

往來の障害は取り除かれ、コロナ禍以前の状態にほぼ戻ったと言えますが、ネックは航空券代です。急激な需要増に増便が追いついていないのか、燃料の高騰が影響しているのか、現時点（11/15 現在）では当初の2倍から3倍程度の値段になっています。2023年の春節休みは1月21日から29日の間ですが、この期間の日台間往復チケットは10万円超えとなっており、かつてのように安く気軽に台湾旅行といった状況にはまだならないのかもしれない。

フェアコンサルティング台湾
（正緯管理顧問股份有限公司）

台北市松山區民生東路3段128號7樓之1保富金融大樓
電話：+886-2-2717-0318
担当：坂下（SAKASHITA）
yu.sakashita@faircongrp.com